

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ② ライフ分野

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
先導的な地域医療の活性化(ライフイノベーション)総合特区 (徳島県)	4.5	<p>進捗度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師不足対策及び在宅医療の推進 128% ・糖尿病対策の推進 151% 	<p>規制の特例等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合メディカルゾーン本部」内を単一の病院とみなした制度・法令上の取扱い等 ・<u>財政支援等</u> ・寄附講座設置事業 ・医師修学資金貸与事業等 ・<u>地域独自の取組</u> ・医療機関や製品開発等に取り組み中小企業者への融資制度の設置等 	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・医師・看護師間のタスクシフトを進めるための特定行為研修が順調に進み、実際に多くの現場で特定行為が実践されている点が評価できる。 ・ウォーキングイベント参加者の増加や、糖尿病関連サービスの開発が進んでいる点も評価できる。 ・対象地域の特性を活かし、十分な成果をあげていると思われる。また、多くの数値目標を達成しており、事業が順調に進んでいることがうかがえる。 ・対象地域の特性を活かし、十分な成果をあげていると思われる。 ・医療関係職種は医師のみでなく多職種で医療が実践されている時代であるため、様々な職種を効果的に活用することが、効率的、効果的な医療の実現のために今後課題となるのではないか。 ・特定行為の実践などを始めとする医療従事者間のタスクシェアの推進が、在宅医療の推進につながるなどの波及効果にも期待したい。